

シード 株式会社 | 北秋田市鷹巣字北家後36-15

昇華転写技術を活かした高品質プリント衣料の製造のため、高彩度プリントと高速裁断を実現

事業計画名 地域ネットワーク型生産体制の拡充に向けた高彩画プリンターと高速自動裁断機の導入

概要 最新モデルの高彩画プリンターと高速自動裁断機を導入し、高彩画製品の生産体制を確立するとともに、プリント工場・裁断センターと小ロット縫製工場からなる地域ネットワーク型生産の量産体制を拡充させ競合他社とのさらなる差別化を図る。

取り組みのきっかけ

高品質な色調へのニーズの高まり

当社は昇華転写※を活用したスポーツウェア等の製造販売を行っており、現在、昇華転写製品は全売上高の60%を占めるまでになっている。主な納品先はスポーツメーカーやアパレル企業であるが、高品質な色調に対する消費者ニーズの高まりから、特にグレー等の中間色のグラデーションデザインの要求が増加し、その対応が課題となっていた。

手作業による裁断工程の解消

裁断工程は手作業に頼っていたが、単価面で制約があるほか外注先・内職者の高齢化などの問題を抱えていた。受注拡大に対応するためには、正確な裁断とスピードアップで外注比率を削減する必要があった。

革新的なものづくり・サービスの目標

鮮やかで高精細の色表現が可能なプリントの実現

中間色のグラデーションとインクの拡散が抑えられた鮮やかで高精細の画像を衣料品にプリントする。複数プリンターで作業を行うが個々の機体差を抑えるカラーマッチング機構を搭載することで色調整を容易にし、停止時間短縮によるスピードアップをはかる。

高速自動裁断機導入によるボトルネックの解消

裁断工程は技術者の不足などで生産のボトルネックとなっていた。正確な裁断ができる高速自動裁断機の導入で縫製時の各パーツ組み合わせが正確になり、品質の向上と均一化を可能とする。

革新的なものづくり・サービスのポイント

複数プリンターのカラーマッチング

複数台のプリンターのプリント色を同一にするため、色調を自動調整するシステムを導入し調整時間の短縮を図る。また、色調整やノズルの清掃等を自動で行わせることで、連続転写を可能とし、生産性を大幅に向上させる。



高彩画プリンター



高速自動裁断機



裁断機による裁断光景

代表者 代表取締役 中嶋 誠
TEL 0186-63-2084
FAX 0186-63-2284
URL seed-sports.com
設立 平成9年11月1日

■資本金:2,000万円
■業種:繊維工業
■従業員数:61人



品質向上と短納期に常日頃から取り組んでおり、昇華転写技術では取引先から「品質のシード」といわれるほど高い評価を得ている。生産は、地元の小規模な縫製工場とネットワークを構築した「地域ネットワーク型生産体制」を敷いているのが特徴。

事業の成果

簡単な色調整で優れた中間色表現が可能なプリンターを導入

グレー等の中間色の色調整時間が従来よりも約30%削減できた。色ズレの大幅な減少でプリント時における不良ロスが低下したほか、ノズルクリーニングの自動化で停滞時間が減少した。カラーマッチング機能の搭載による容易な色調整等で品質の差別化ができた。

裁断工程の時間短縮

縫製時のパーツ組み合わせ作業が正確になり、品質と生産性が向上した。1日の平均裁断枚数が30%アップし、裁断の不良率が1%減少、1着あたりの処理時間が導入前(手作業)の約8分から約2分に短縮できた。



高品質プリントによるユニフォーム

今後の展開

本事業により最新モデルの設備を導入したことで「地域ネットワーク型生産体制」が整備されたことから、年間売上高を5年後には5億円、社員数を65名に、一人あたりの人件費を30万円台にアップしたいと考えている。

事業者からの一言

今後は、自社オリジナルブランドのスポーツウェア「DVELOP.」(デベロップ)の直販を拡大させる計画である。また、台湾を中心とした東南アジアにおいて、各国の企業とパートナー契約を結び、インターネット販売による海外展開を目指している。

※昇華転写：パソコンなどでデザインした絵柄を昇華用インクで転写紙に印刷。
転写紙に熱を加えてインクを昇華させ、転写紙の絵柄をポリエステル生地に着させる技術。